

国語

平成24年度

中学校入学試験 A

2月1日午前実施

受験上の注意

- 1. 問題は一から二まで全部で 6 ページあります。
- 2. 試験時間は 50 分です。
- 3. 声を出して読んではいけません。
- 4. 答えはすべて解答用紙に記入し、解答用紙を提出してください。
- 5. 受験番号と氏名を問題用紙と解答用紙の決められたらんに記入しなさい。
- 6. 問題用紙・解答用紙のことで質問があれば、手をあげて係の先生に聞いてください。

受 験 番 号	氏 名



一、次の各問題に答えなさい。

問一 次の①～⑩の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① せんたくものをホす。
- ② ごくごくと冷たい水をノんだ。
- ③ 一時間の予定が二時間にノびた。
- ④ 行進の列をミダさないようにしよう。
- ⑤ 心をしずめるため、深く息をスった。
- ⑥ つかスペインをタズねてみたいと思う。
- ⑦ 太平洋エンガンの町。
- ⑧ 彼は両親にコウコウするため必死で働いた。
- ⑨ アメリカ大陸をオウダンする列車に乗った。
- ⑩ シセイを正して、ものごとに立ち向かう。

問二 次のことわざの意味を後から選び、記号で答えなさい。

- ① ねこに小判 ② 急がばまわれ
- ③ 石の上にも三年 ④ 縁の下の力持ち
- ⑤ 雨降って地固まる

《意味》

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| ア 良いことはただちに実行せよ。 | イ 人目に付かず役立つこと。 |
| ウ がまんしていれば成功する。 | エ 一度にいくつもよくばるとみんな失敗する。 |
| オ あわてずに本道をいく方が結局ははよい。 | カ もめごとのあとは、かえってものごとがうまくおさまる。 |
| キ 貴重なものも、持ち主によっては何の価値もない。 | |

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

毎年¹のことながら、新年を迎え²ると、久しぶりに「年」単位でものごとを考えると、いつもは、切り刻まれた時間の中で、追いつめられるように時を過ごしてきた自分を、ふと振り返るまたとない機会でもある。悠久³の時間とはほど遠い細分化された時間、我々の日常を支配しているのは、そのような切り刻まれた時間である。しよっちゅう時計を気にしながら、追いつめられるように毎日を過ごしてきた自分を、つかのまではあるが解放感にひたらせるという意味では、「正月」は、実に合理的な「装置」かもしれない。

そんなことを考えると、ミレーの『晩鐘』⁴が思い浮かんできたりする。『晩鐘』の中に描かれている農夫たちは、もちろん腕時計など持っていない。柔らかな夕暮れの光の中で、彼らの耳には、教会の鐘の音が聞こえてくる。一日の仕事を終えた安堵感⁵、疲労、そしてあとで待ち受けている家事への心の準備。教会の鐘の音を聞きながら、村人たちは皆そう思った思いを抱いているにちがいない。しかし、不思議と、その姿は、時間に縛られているとか、画一的だとかいった様子を感じさせない。むしろ逆に、ゆったりとした悠久の時間すらにじみ出ている。

今の日本では、腕時計は、小中学生でさえ持っている。A、我々が自由な「自分の時間」を持っているかといえば、決してそうではない。B、腕時計を気にしながら、時間に追われているといった気配である。腕時計、C、「リストウォッチ」。ひよつとして、我々は、時計に「ウォッチ」II「監視」⁶されているのではあるまいか。腕時計は、我々の手にはめられた手錠⁷であるのかもしれない。

戦後半世紀、経済成長は、我々に豊かな所得とモノ（腕時計も！）を与えはしたが、豊かな「時間」を与えることには成功していない。子供たち、青年たち、働き盛りの大人たち、D 高齢者⁸たちが、はたしてライフサイクルのそれぞれの時期に、自由に豊かな「時間」を享受しているだろうか。数年前、偶然のことから読む機会を得たミヒヤエル・エンデの『モモ』は、そうした私の思いを、いっそう確かなものにくれた。

童話『モモ』の主人公モモは、円形劇場の廃墟に住みつくようになった、年齢もどこから来たのかもわからない不思議な女の子である。現代のように管理の網の目が広がった文明社会では、モモのような存在は許されない。その意味では、モモは、現代

人がすでに失ったさまざまなものを豊かに備えた象徴的存在である。例えば、彼女は、相手の話にじっと聞き入ることによって、いつのまにかその人に自分自身を取り戻させるという不思議な能力を持っている。モモの澄みきったひとみは、あたかも鏡のよう、この世界を映し出し、人々は、モモと話しているうちに、せせこましく生き急いでいる自分にはっと気づかされるのである。ところが、モモを取り巻く世界は、「時間泥棒」に支配され始めている。人間らしく生きるための、ゆったりとした豊かな時間が失われて、人々は、「時間がない。」「暇がない。」と口々に語り始める。例えば、床屋さんのフージーは、「時間泥棒」にまゐるめこまれて、自分の時間を「時間貯蓄銀行」から来た「灰色の男」にゆだねてしまう。無駄なおしゃべりはいっさいやめ、それまで一人の客に一時間かけていた散髪を十五分で済まし、年とった母親と一緒に過ごす時間まで削り、ついには母親を養老院に送り込んでしまう。そのようにして節約した時間を「時間貯蓄銀行」に預けておけば、フージーが六十二歳になった時には、二十年間の利子が蓄積されて、十倍以上の時間となって返ってくるというのである。彼はつい「灰色の男」の口車に乗せられて、「時間貯蓄銀行」に口座をつくり「近代的な人間」の仲間入りをすることになったものの、仕事はいつこうにおもしろくない。日に日に不機嫌で怒りっぽくなり、いかにもくたびれはてたという様子である。

これは、まさに現代の日本の姿ではあるまいか。塾や習いごとを追われる子供たち、「一社懸命」的に仕事に時間を奪われる会社人たち。そして、定年退職後、初めて手にする二十年という「余生」。しかし、その時、子供時代の時間、青年時代の時間、壮年時代の時間は戻ってはこない。時間は不可逆である。『モモ』は、まことに重いメッセージを我々に投げかける。

〈中略〉

戦後の経済成長を通じて、確かに我々は、豊富なモノを手にすることができた。消費の増大が、そのまま豊かさの実現と直接的に結びついていった時期があったことも、事実である。しかし、モノの消費は、それ自体が目的ではなく、自由で豊かな時間を過ごすための手段ではあるまいか。そして、モノを獲得するために、自由で豊かな時間を手放してきたという現実があったとすれば、我々は、今ようやくそうした関係を見直すことのできる時期を迎えているのかもしれない。新年は、そうしたことを思い起こさせるまたとない機会なのである。

(中村達也の文章より)

- ※ 悠久Ⅱ永遠。
- ※ ミレーⅡフランスの画家。
- ※ 晩鐘Ⅱ畑に立つ農夫とその妻が、夕方の教会の鐘の音を聞き、頭をたれて祈りをささげる様子を描いた絵。
- ※ 安堵感Ⅱものがごとくうまいって安心した気持ち。
- ※ 画一的Ⅱすべてが同じにそろえられているようす。
- ※ 享受するⅡ(芸術美などを) 味わい楽しむ。
- ※ ミヒャエル・エンデⅡドイツの児童文学者。
- ※ 廃墟Ⅱ荒れはてた建物などのあと。
- ※ 象徴的存在Ⅱいろいろな思想などを代表して表すもの。
- ※ せせこましいⅡゆとりがないようす。
- ※ ゆだねるⅡすっかりまかせてしまう。
- ※ 口車に乗せられるⅡうまく口先でだまされる。
- ※ 余生Ⅱ(活動期を過ぎた) 生涯の残りの部分。
- ※ 不可逆Ⅱ逆もどりすることができないこと。

問一 ―― 線ア「つかのま」の意味を書きなさい。また、―― 線イ・ウの意味を次の1～3より選び、番号で答えなさい。

イ 聞き入る

- 1 集中して聞く
- 2 じっとだまって聞く
- 3 中に入ってゆっくり聞く

ウ またとない

- 1 さらに良い
- 2 二度とこない
- 3 またおとずれる

問二 空らんA～Dに入る語句を次から選び、記号で答えなさい。

ア そして イ むしろ ウ かなり エ しかし オ または カ すなわち キ やがては

問三——線1「久しぶりに『年』単位でものごとを考える」とありますが、「『年』単位でものごとを考える」とはどのようなことですか。次のうち、当てはまるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 毎月の予定を確認する。 イ 毎日の生活のリズムを変える。
ウ 今、何をすべきかを決める。 エ 一時間の使い方を工夫する。
オ 長い期間を見すえて計画する。

問四——線2「細分化された時間」と同じような意味で使われている言葉を、文中から十字以内でぬき出して答えなさい。

問五——線3「『正月』は、実に合理的な『装置』かもしれない」とありますが、この場合の「装置」の意味として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 道具 イ 計画 ウ しくみ エ そえもの

問六——線4「ミレーの『晩鐘』が思い浮かんだりする」とありますが、それは『晩鐘』が、どのようなことを感じさせるためですか。

問七——線5「腕時計は、我々の手にはめられた手錠であるのかもしれない」とはどのようなことを言っているのですか。

問八——線6「そうした私の思い」とはどのようなものですか。次の空らん^{（四字以内）}に適切な文中の言葉（四字以内）を入れ、説明文を完成させなさい。

- 「^①」によって、我々は豊かな所得とモノを与えられたはずなのに、かえって、^②で^③な^④」を失っているのではないかという思い。

問九——線7「モモのような存在は許されない」とありますが、どうしてですか。説明しなさい。

問十——線8「現代人がすでに失ったさまざまなもの」とありますが、それはどのようなものですか。次のうち、あてはまらないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 友人と、思う存分おしゃべりを楽しむこと。
イ お年寄りと一緒に過ごす時間を大切にすること。
ウ 少しの時間でできるだけ多くの仕事をする事。
エ 食べ物でも洋服でも家具でも、ひまを見て手作りすること。

問十一——線9「一社懸命」とは「一生懸命」という言葉から作られた造語です。その意味として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 一つの会社に属し、その会社のためだけに必死で働くこと。
イ 一つの会社から次の会社に移り、きちんと仕事をこなすこと。
ウ なんとか一つでも会社と契約をとるために、いつも走り回ること。
エ 会社の中にとまりこんででも、期日にまにあうよう仕事を仕上げる事。

問十二——線10「『モモ』は、まことに重いメッセージを我々に投げかける」とありますが、『モモ』は我々にどのようなことに気づかせてくれるのですか。次からもっとも適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 時間はもどってこないのだから、もっと豊かな時間をすごすよう考えたほうが良い。
イ 時間がもどってこないとしても、なにもせずにゆったりした時間を過ごすことが何より大切だ。
ウ 時間がもどってこない以上、決められた時間の中でいかに多くのことを成しとげることが問題とされる。
エ 時間はもどってこなくても、豊富なモノを手にかけることで、消費も増大し、時間も思いのままに使えるようになる。

受験番号
氏名
得点

問二	問一			
	①	⑥ タズ	① ホ	
②	ねる		す	
③		⑦ エンガン	② ノ	
④			む	
⑤		⑧ コウコウ	③ ノ	
			びる	
		⑨ オウダン	④ ミダ	
			す	
		⑩ シセイ	⑤ ス	
			う	

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	問十一	問十二
ア	A						①				
ウ	B										
	C						②				
	D										
							③				
							④				